



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

3学期 朝会

1月24日(火)に、全校朝会をリモートで行いました。

朝会では、「ともだちをたすけるのは、いちばんしあわせなこと！」(潮出版社：アグネス・チャン さく・え)の絵本を紹介しました。次のような内容です。

雨の降る中、傘がなくて困っている転校生の女の子を見かけた同じクラスの男の子が、持っている傘を貸します。男の子のお母様が迎えに来られ、傘を貸した話を聴き男の子にお母様が話をします。「それはとってもいいこと！ママはあなたがすてきだとおもう」「ともだちをたすけるのは、いちばんしあわせなこと！」と。翌日女の子と改めて自己紹介し合い、自分の友達にも紹介して、一緒に遊び始めると、女の子がにっこりほほえみます。その様子を見て、男の子の心の中がぼかぼかと温かくなり、「ともだちをたすけるのは、いちばんしあわせなこと」というお母様の言葉が胸の中にのこっていることに気づいていきます。

そして、本の帯に書いてある次の言葉も合わせて紹介しました。

ほかのひとをたすけると、ぼくもしあわせになるんだ！

絵本を紹介した後に、子供たちに、人のことを考えて言葉を使い、行動していくことで、心が温かくなったり、元気が出たりしたことがあるのではないかと問い、人のことを考えている思いが言葉や行動に表れていることが、学校の中にたくさんあると話しました。そして、そのような時、人は

頼もしく見え、すてきな表情になっていくので、その人自身の心が豊かになっていると感じられること、でも実は、その様子を見ている周りの人たちの心も温めてくれることにも繋がっていることも話しました。

その後、ほんの一部ですが、最近の学校の様子を具体的に取り上げました。学校の中に、「あたたかな言葉」が掲示されているコーナーがあること、各委員会が、学校のみんなのことを考えて行動しようとする思いをポスターで表現して発信していることについて触れました。また、先週の校長通信で紹介させていただいた、用務員さんの手伝いをしようと、枯れた草をとっている子供たちの様子についても触れました。

最後に、みんなでお互いの良さを見つけ伝え合い、入谷小学校の目標である「笑顔いっぱい かがやく入谷っ子」を目指していきましようと話し、朝会を終えました。

子供たちのすばらしい姿を見出し、価値づけることは、すでにもっている自分の美しさに子供自身が出あうことに繋がるのではないかと考えています。また、そこからさらに豊かさが広がっていくのではないかと思います。

*校内の掲示の様子は、学校HPで御覧ください

優しきは繋がっていく

欠席している友達を使うプリントを前席の友達が丁寧にたたんで、さっと椅子を引き机の中にしまいました。それを見ていた隣席の友達が、引き出された椅子を戻すのを手伝っていました。優しきが繋がっていくすてきな瞬間でした。心が温まります。